

前回、徳島市保健予防課と徳島市歯科医師会が合同で行っている寝たきり老人等訪問歯科保健指導についてお知らせしました。しかし「口の中の衛生指導をしてくれるのはうれしいが、今痛む歯や、かめない壊れた入れ歯を治してほしい」という要望が多いのが現実です。徳島市歯科医師会では指導を受けた方の中

で、希望される方にはできる範囲で治療も行っていきます。

なぜ歯科医が往診しなかった

かという理由は前号にまとめましたが、大きな理由のひとつに適当な器材がないということがありました。しかし最近では写真のように携帯に便利な器材がたくさん出てきました。今までのものに比べて消毒が簡易にできたり、ディスプレイザブル化（初めから消毒ができており使用後は使い捨てにする）されて往診には便利になりました。写真右下の中央にある金属

虫歯の治療も可能

携帯に便利な器材でできる

のケースには歯科用タービンが内蔵されています。皆さん一度はいやな経験があると思いますが、例のキーンという歯を削る機械です。このケースひとつのなかにジェット機のタービンエンジン、注水装置、吸引装置など歯科医院と同じ基本動力が組みこまれています。このおかげで往診先で虫歯を削る

ということが可能になりました。往診しない第二の理由として患者さんの全身の状態が分からないためということも挙げました。しかし、徳島市保健予防課のシステムに乗って往診した患者さんは内科の主治医の意見や服用している薬の種類、保健婦さんの調査表など様々な情報が前もって書類



ベッドで寝ている方の治療。半分体をおこし、ヘッドライトを使う

で手渡されています。そのおかげで安心して診療にかかれます。寝たきりになられた原因には脳血管障害が多いため、血の流れを良くする薬を飲んでいる方が多いと思います。このような場合でも前もって情報として知らされると二重、三重の止血処理の準備をして往診できます。のどの働きが十分でなく異物が気管に入りそうになっても押し出



歯科治療のための往診器材。口の中で使うものはすべて滅菌パックされている

す力が弱い患者さんで歯型が通常の方法では取れない方、座ってじっとしていることが不可能な方、当時の機嫌でどうしても口を開けてくれない方などいろいろな方がおられますが、担当医は徳島大学歯学部専門の方に意見を聞いたり、担当医どうし情報の交換を行って出来るだけ治療範囲を広げる努力をしています。具体的な治療で一番多いのは古い入れ歯の修理、調整、新しい入れ歯の作製、歯石の除去、抜歯、とがった歯の研磨などを行っています。（徳島市歯科医師会）